

地域で支える高齢者

～ これからの地域連携を考える ～

講演内容

- ・ 高齢者と日常生活訓練
- ・ 地域全体で支えるということ
- ・ 事例紹介（都合により変更になる場合もございます）
 - ① 高齢アルコールリワーク
 - ② 高齢アルコール高次脳機能障害

入場
無料

日程

2019年 **5月16日**（木）

時間

13:30～15:30（会場13:00）

会場

南大塚地域文化創造館2階 第1会議室
（詳細は2枚目の用紙をご覧ください）

【講師】

医療法人社団榎会 新大塚榎本クリニック

院長 **松田隆夫**

【取り組み紹介・事例提供】

医療法人社団榎会 新大塚榎本クリニック

精神保健福祉士 川中子有・安藤誠



お申込み： 2枚目の用紙にてFAXをお願いいたします

新大塚榎本クリニック講演会

地域で支える高齢者

～ これからの地域連携を考える ～

第1報

テーマのご紹介

「超高齢社会」、この言葉は65歳以上の人口の割合が全人口の21%を超えた社会のことを指します。

以前から高齢化が進んでいると言われている日本ですが、1994年には人口の14%を超える高齢社会に、その13年後の2007年には先に説明した超高齢社会となりました。そして、内閣府の2016年10月時点の調査ではこの割合が27.3%に達しています。これは、国民の3～4人に1人は65歳以上であるということです。この時代の流れを受け、地域社会では今まででは想像できなかった様々な問題や課題が生まれています。

今回の講演会では、アルコールや高次脳機能障害といった、障害が重複することによって困難になった事例を通して当院の取り組みをご紹介します。皆様とこれからの地域社会におけるの援助や連携について考える機会にさせていただけたらと思います。

また次回以降の第2報からは、高齢者に対する以下のようなテーマを取り上げさせて頂く予定になっております。更に皆様のご意見により、順次テーマを検討・追加させて頂くことができれば幸いです。なお、都合により一部テーマの変更をさせて頂く場合もございます。ご了承ください。

- ・ 高齢者とアルコール
- ・ 高齢者と高次脳機能障害
- ・ 精神障害者の高齢化 など。

